

## せとうち地域観光の未来を創るスルーガイド育成事業 企画提案書作成要領

一般社団法人せとうち観光推進機構（以下「機構」という）が実施する標記業務の委託に係る公募型プロポーザルに関し、プロポーザル参加者が企画提案書を作成するために必要な事項は次のとおりとする。  
なお、プロポーザル参加者は、本事業の業務委託仕様書の趣旨に沿って提案すること。

### 1 企画提案時の提出書類及び構成

#### (1) 提出書類

正本1部、副本8部及び電子データ（CD-R等に格納）を提出すること。

#### (2) 構成

- ア 表紙
- イ せとうち地域観光の未来を創るスルーガイド育成事業に係る提案書
- ウ 事業実施スケジュール
- エ 業務実施スタッフの業務内容並びに体制図、緊急時の連絡体制
- オ 事業実施実績（本業務に類似する業務に限る）
- カ 見積書

#### (3) 留意事項

- ア 仕様書の趣旨を十分にくみとり、具体的に提案すること。
- イ 事業実施スケジュールについては、具体的に記載すること。
- ウ 見積書については、本業務に係る所要経費を全て見積るとともに、見積りの根拠となった所要経費の明細を明らかにすること。
- エ 提案書（(2)ア～カの内容を含む）はA4版60ページ以内の構成にすること。
- オ 本件公募に関し、仕様書、評価基準その他公募関係資料の作成に関与した者、又はこれらの者と資本関係、人的関係その他密接な関係を有する者の関与は認められない。

### 2 作成要領

- (1) 用紙は、原則A4判（必要に応じA3判の折込みも可）両面使用とし、横置き横書き（縦綴じ）とすること。ただし、図表等の表現の都合上、用紙及び記述の方法を一部変更することは差し支えないものとする。
- (2) ページ番号は目次を除き通し番号とし、各ページの下部に印字すること。
- (3) 審査の公正を期すため、企画提案書の副本には、会社名、住所、ロゴマークなど、プロポーザル参加者を特定できる表示を付してはならない。なお、業務実施スタッフ体制図などには、プロポーザル参加者名を「当社」と記載すること。

### 3 選定基準

#### (1) 事業に対する基本的な考え方、事業内容の理解度

- ア 機構のインバウンドマーケット戦略を十分に理解したうえでの提案となっているか。
- イ 本事業の目的、内容を、十分に理解しており、目的の達成が期待できるか。

#### (2) 企画内容の優良性

企画内容が、具体性、妥当性、実現可能性を伴う、効果的な事業展開が期待できるものとなっているか。

ア 募集・選考

一定の水準を満たすガイド人材から実務経験の磨き上げに資する層を選考するために、効果的な募集・選考方法を具体的に提案できているか。

イ 実地前動画研修

高付加価値旅行者層への対応やせとうち地域に跨るスルーガイドとして認識させるべき姿勢や心得、基本的知識等を学べる内容であるか。また、道中の移動手段、スルーガイドとして求められる知識・技能や旅程管理能力等に関する内容も含まれているか。

ウ 実地研修

多角的な視点からルート選定を行い、高付加価値旅行者層に対するガイドとしての実践性と学習効果が期待できる内容が提案されているか。また、在日外国人の選定において、旅行会社・ガイド双方の視点で助言可能な者を提案できているか。

エ 旅行会社参加型研修

高付加価値旅行者を中心とした取扱いのある複数の旅行会社を選定できているか。また、旅行会社がスルーガイドに求めるガイディングスキルや旅程管理能力等を学べる内容が含まれているか。

オ スルーガイド修了認定

スルーガイドとして認定された人材が、将来的な活動に資する修了認定として活用できるよう、明確かつ客観的な認定基準が設定されているか。

(3) 業務遂行能力の安定性

ア せとうちエリアをはじめ、広域地域における類似業務の実績があり、業務の着実な履行が期待できるか。また、業務全体の実施スケジュールについて具体的に記載されており、確実な事業展開が可能と認められるか。

イ 機構、受託者の間の意思疎通や、やり取りが円滑、スピーディー、タイムリーに進められるよう、当事業に精通した担当者が配置され、役割分担が明確になっているか。

(4) 事業の実施に係る経費

事業計画に見合った経費となっているか。所要経費の明細が明らかとなっており、妥当性があるか。